

国家核安全保障局：
ネバダ現地事務所ニュース

2010年9月15日（即時）

未臨界核実験「バックス」が2010年9月15日午後5時35分（現地時間）にネバダ核実験場で行われ成功を収めました。本実験はロスアラモス国立研究所によって行われ、地下核実験を行うことなく国が所有する核兵器の信頼性と効率性を保つための極めて重要な情報を得ることのできる科学的データを収集しました。

2006年8月30日に行われた前回の未臨界核実験「ユニコーン」に続き、「バックス」は今日までで24度目の未臨界核実験となります。

未臨界核実験とは、高性能爆薬によって生み出された強烈な衝撃波に対するプルトニウムの反応を検証するもので、備蓄されている核兵器の信頼性と効率性を維持するのに不可欠な科学的データと技術情報を得ることができます。本実験は未臨界核実験であるので、臨界質量は形成されず、自動継続的な核連鎖反応、すなわち臨界が起きることはありません。よって、核爆発は発生しないのです。